

事例Ⅲ－１ 国産材利用の拡大に向けた住宅部材のパッケージ化

ナイス株式会社(神奈川県横浜市)では、令和3(2021)年の木材不足・価格高騰(いわゆるウッドショック)により国産材の安定的な供給ニーズが高まったことを背景に、首都圏を中心として工務店やビルダーの継続的な国産材の利用を促進していくため、構造材、内外装材を国産材仕様とした家づくりを提案する「国産材プレミアムパッケージ」の販売を開始している。

同社は、構造材の基本パッケージとして「無垢材仕様」、「構造用集成材仕様」、「無垢材＋構造用集成材仕様」の3種類を用意しており、要望に合わせた選択を可能としている。また、構造計算等により、^{はり}梁等の横架材として国産スギの製材品や集成材が使用できることを検証しており、パッケージを国産材仕様にする^{はり}ことでコストダウンが可能となることもアピールしている。ベースとなる樹種は、国産針葉樹のスギ、ヒノキ、カラマツなどを中心に構成している一方で、一部の横架材については、選択肢の一つとしてレッドウッドやベイマツといった外国産材も加えている。

また、同社は首都圏内に計6か所のストックヤードを有し、全国から集荷した多種多様な木材を常時ストックしており、邸別に必要となる部材を集めて(アッセンブルして)供給する体制も整えている。これにより、顧客の要望にきめ細かく対応することが可能となっている。

今後は、改正建築基準法等の施行^注を踏まえた、品質・供給量・価格のバランスが取れた国産材パッケージの提案を予定している。

注：改正建築基準法の施行については、第3節(2)182-184ページを参照。

	無垢材仕様		構造用集成材仕様		無垢材＋構造用集成材仕様		
	仕様①	仕様②	仕様①	仕様②	仕様①	仕様②	
主要構造材	土台	ヒノキKD AZN(K3)	ヒノキKD	ヒノキ集成 AZN(K3)	カラマツ集成 AZN(K3)	ヒノキKD AZN(K3)	ヒノキ集成 AZN(K3)
	大引	ヒノキKD AZN(K3)	ヒノキKD	ヒノキ集成 AZN(K3)	ヒノキ集成 AZN(K3)	ヒノキKD AZN(K3)	ヒノキ集成 AZN(K3)
	柱	ヒノキKD	スギKD	ヒノキ集成	スギ集成	ヒノキKD	スギKD
	長柱	ヒノキKD	ヒノキKD	ヒノキ集成	ハイブリッド 集成	ヒノキKD	ヒノキKD
	梁桁(3m・4m240下)	スギKD	スギKD	カラマツ集成	ハイブリッド 集成	スギKD	ベイマツKD
	梁桁(270上・長尺)	スギKD	ベイマツKD	カラマツ集成	ハイブリッド 集成	ハイブリッド 集成	ハイブリッド 集成
	母屋隅木束類(小角)	スギKD	スギKD	ヒノキ集成	ヒノキ集成	スギKD	ベイマツKD

構造材の基本パッケージ例(首都圏木材版)



アッセンブル作業の様子

(ウ)非住宅・中高層建築物における木材利用の動向

(非住宅・中高層建築物における木材利用の概況)

令和7(2025)年の着工建築物を用途別・階層別にみると、低層住宅以外の非住宅・中高層建築物の木造率(床面積ベース)は、6.6%と低い状況にある(資料Ⅲ－11)。一方、低層で床面積が500㎡未満であれば、既存の住宅における技術を使える場合があることなどから、木造率は比較的高い傾向にある(資料Ⅲ－16)。

(非住宅・中高層建築物での木材利用拡大の取組)

近年、住宅市場の縮小見込みや、持続可能な資源としての木材への注目の高まりなどを背景に、建設・設計事業者や建築物の施主となる企業等が、非住宅・中高層建築物の木造